



もり

# 北の森林 国有林

写真：フクジュソウ  
(撮影場所 北見市)

## 今月のトピック

- ・令和4年度 北の国・森林づくり技術交流発表会
- ・令和4年度 治山・林道コンクール表彰式



国民の森林・国有林

林野庁 北海道森林管理局





# 令和4年度

もり

# 北の国・森林づくり技術交流発表

「令和4年度 北の国・森林づくり技術交流発表会」を令和5年2月14日、15日の2日間、北海道大学学術交流会館において新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じ、3年ぶりに対面で開催しました。



上 森林管理局長  
開会挨拶

当発表会は道内の森林・林業・木材産業の活性化のため、関係者間の情報提供や意見交換を通じて技術力の向上と交流の推進を目的としており、森林管理署、北海道、大学、高校、業界から取組事例や研究成果の発表がありました。

発表は口頭発表が「森林技術部門」で10課題、「高等学校部門」で3課題、「森林保全・ふれあい・地域連携部門」で9課題、また、

ポスター発表では28課題の発表が行われました。

特別発表では、森林総合研究所北海道支所、林木育種センター北海道育種場、北海道立総合研究機構林業試験場の各試験研究機関と北海道森林管理局森林技術・支援センターから発表がありました。

また、特別講演では北海道大学大学院農学研究院教授 中村 太士氏より「レジリエンスと自然再生―胆振東部地震と知床世界自然遺産から学ぶもの―」と題して、約1時間の講演を頂きました。会場では熱心に聴講される様子が多く見られました。

審査委員長の森林総合研究所北海道支所の吉田支所長からの講評では、「優秀をつげたい発表が多く、審査委員全員で議論をして受賞を決定しました。受賞を逃した発表も僅差であり引き続きそれぞれの活動に取り組みられることを望みます。」とのことばを頂きました。

## 特別講演

### 「レジリエンスと自然再生 胆振東部地震と知床世界自然遺産から学ぶもの」

北海道大学大学院農学研究院教授 中村 太士 氏



2日目の2月15日、特別講演として、北海道大学大学院農学研究院教授 中村太士 氏より講演をいただきました。

「2018年北海道胆振東部地震によって発生した斜面崩壊面積は44km<sup>2</sup>に及び、明治以降に記録された地震に伴う斜面崩壊の中で最大のものであった。多くの人工林や自然林が破壊され今後の森林復興が大きな課題となっている。災害後に残された地形や植物遺骸(biological legacy)が、その後の森林回復に重要な役割を果たす。

また、知床は、海と陸のつながりが普遍的価値をもつことで2005年に世界自然遺産に登録された。登録後、このつながりを分断する治山・砂防ダムの改良工事が進められ、多くのサケ科魚類が上流域に遡上して産卵できるようになった。流砂の連続性が生態系の健全性、漁業資源の持続性をもたらず」という講演は、山づくりを進める上でとても貴重なものとなりました。

★局長賞（最優秀賞）

【森林技術部門】

天然力を活用した低コスト再造林技術への取組  
～「表土戻し」地拵による天然更新～

（空知森林管理署北空知支署 谷本直緒子、中嶋佑輔）

天然力を活用した低コスト再造林技術となりうる「表土戻し」地拵の普及に向け、表土戻しと通常の地拵施工地における天然更新木や下層植生、植栽木の成長について調査し、低コストでカンバ林を造成できる可能性を示唆しました。



【森林保全・ふれあい・地域連携部門】

地域住民に認知される国有林を目指して

～ビジタースポット及びデジタル森林浴を活用した国有林PR～

（上川北部森林管理署 岡村澄香、小林昌志）

国有林PRのために取り組んだビジタースポットやデジタル森林浴の実施状況・成果や課題点等について発表し、国有林の取組のPRや情報発信の取組について、各署等でも参考になる提案をしました。



【高校部門】

私たちが考える月形演習林の未来像

（岩見沢農業高等学校 鎌田佳貴、遠山優弥、小平唯吹、森下温大）

当校の演習林は11齢級以上のトドマツ人工林が大半であり、今後伐採・更新の時期を迎えるため現状の把握を行いました。得たデータに基づき、人工林として管理できる面積、育成天然林に向けた取組、広葉樹材の有効活用等について検討しました。



★局長賞（優秀賞）

【森林技術部門】

低価格な2周波RTK-GNSS受信機の森林内での測位精度

（東京大学北海道演習林 平間睦樹）

森林内のGNSS測量において近年は低価格な製品が発売され、森林内で高精度での測位が期待されることから、低価格な2周波GNSS受信機を用いたアンテナや方法、時間などの条件を変えて精度を比較したところ、標準タイプのアンテナでも十分な性能を持つことが分かりました。



【森林保全・ふれあい・地域連携部門】

東京大学北海道演習林における虫害の観察記録

—1980年からの43年間—

（東京大学北海道演習林 井口和信）

発表者は長年にわたり現場での森林管理に従事し、さまざまな虫害を確認されており、一つ一つのデータの積み重ねが必要であると指摘されました。



【高校部門】

ミスナラ未利用材からのコーヒー開発

（旭川農業高等学校 澤田圭祐、新鞍洸太、宮里凰介）

道産ミスナラ未利用材を原料に代替コーヒーを開発するため、成分の抽出方法、コーヒーの風味を高めるために植物成分をブレンドするなど、高校生ならではの画期的な発想と取組みで試験を行いました。



【高校部門】

帯広農業高校学校林でのカラマツ再造林の取り組みとエゾヤ

チネズミの発生・食害の状況について

（帯広農業高等学校 藤原万尋、栄前田穂華、蓮井颯太、人見紗有里、今井ゆい、本間輝）

カラマツ学校林の伐採・再造林を進める上で課題となる野鼠被害の現状の把握と有効な対策を検討するため、市有林の視察や樹種、地況の検討などを行いました。



## ★奨励賞

### 【森林技術部門】

道南スギの収穫予測に基づく施業体系の実証について

(北海道渡島総合振興局西部森林室普及課 村上雅文、大庭 聖)

### 【森林保全・ふれあい・地域連携部門】

北海道の森林資源（アカエゾマツ・ハマナス）を活用した製品開発の検討

(明治大学商学部 柴田優香、川添悠河、矢萩隆明)

## 🌿特別発表

- 1 広葉樹資源を持続的に育成するための取組  
北海道森林管理局 森林技術・支援センター 谷村 亮
- 2 トドマツの天然更新における強光ストレスの影響について  
森林総合研究所 北海道支所 植物土壌系研究グループ 北尾 光俊
- 3 風倒害に強い森づくりの指針の提示  
北海道立総合研究機構 森林研究本部 林業試験場 阿部 友幸、  
滝谷 美香、藤原 拓哉
- 4 北方樹種の早期着花性  
森林総合研究所 林木育種センター 北海道育種場 中田 了五

## 🌿ポスター発表

ポスターについても2日間展示し、1日目にはコアタイムを設けたところ、説明者に対し熱心に質問する様子が多く見られたところです。



ポスター発表の様子



発表課題の内容等は  
局ホームページをご覧ください。



(技術普及課)

3年ぶりに北海道大学学術交流会館で開催し、多くの皆さまのご協力により開催することができました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

開催にあたっては新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底する中、皆さまにご来場いただきとともに、YouTube によるWEB配信を行い、遠方で視聴されている方々などからは好評をいただいたところです。

受賞おめでとうございます

# 令和4年度 治山・林道工事コンクール表彰式



上局長からの主催者挨拶

彰式は2月16日、林野庁において開催され概要が林野庁から公表されていますので、ここでは、森林管理局長賞の受賞工事から工事概要を紹介します。

治山・林道工事コンクールは、前年度に発注した工事を対象として構造物の仕上がり状況、施工管理、技術提案、コスト削減、自然環境への配慮等を総合的に評価し、優れた工事を表彰するものです。施工技術の向上に向け、関係者の意欲高揚を図るため毎年開催しています。

令和4年度については北海道内の治山工事53件、林道工事63件の中から北海道森林管理局長賞11件の工事が表彰されました。また、農林水産大臣賞1件、林野庁長官賞8件の表



西江建設株式会社  
代表取締役社長 西江 靖幸 様  
からの受賞者挨拶



局長賞授与  
株式会社吉岡建設  
代表取締役 鷹嘴 充子 様

## 主な受賞工事

北海道森林管理局長賞

### 治山工事

【工事名】  
ペケレベツ川支流治山工事  
【テーマ】環境配慮  
【工事概要】  
平成28年の台風時には下流域の住宅地及び国道に土砂が流出するなどの被害が発生した経緯があり、今後の土砂災害防止のために軽量鋼矢板床固工を施工した工事です。  
ペケレベツ川下流には製糖工場があり、甜菜の洗浄水として採水していることから、工事現場での濁水防止に努めるとともに、濁水の状況を定点調査し、結果を製糖工場に報告するなど、環境保全に配慮したこと、出来形品質も良好に施工されていたことなどが高く評価されました。

### 林道工事



軽量鋼矢板床固工

【工事名】  
5線の沢林道(林業専用道)新設工事  
【テーマ】技術提案  
【工事概要】  
UAVを利用し工事の着手前、施工中、竣工時に俯瞰的に現場を確認することで工事概況の把握に努めました。



人工林にアクセスしやすい  
林業専用道

施工箇所が山間部であり、携帯の電波が弱く不安定なことから工事事務所にレピータ(電波増幅器)を設置し通信環境を改善し気象情報等を収集することで適切に施工管理したことが高く評価されました。



局長賞受賞者のみなさん

主任(監理)技術者  
現場代理人

農林水産大臣賞受賞工事  
および林野庁長官賞受賞工事  
のうちの各段階で高い品質  
管理などの管理能力が発揮され  
たものを表彰しました。  
受賞した皆様におかれましては、今後とも技術の研鑽  
に努められ、品質の高い施工  
をお願いたします。

(治山課・森林整備第二課)

受賞工事

【農林水産大臣賞】

部門	署名	工事名	会社名
林道	東大雪支署	湯擬谷第1分線林道（林業専用道）新設工事	西江建設株式会社

【林野庁長官賞】

部門	署名	工事名	会社名
治山	胆振東部森林管理署	樽前山（覚生川）地域防災対策総合治山事業	岩倉建設株式会社
治山	上川中部森林管理署	十勝岳治山工事その1	株式会社橋本川島コーポレーション
治山	十勝東部森林管理署	本別町朝日町治山工事	萩原建設工業株式会社
治山	後志森林管理署	紋別川治山工事	戸沼岩崎建設株式会社
林道	空知森林管理署	扇風機の沢作業道（林業専用道（規格相当））新設工事	及川産業株式会社
林道	上川中部森林管理署	松山1号林道（林業専用道）新設工事及び 岩山林道（林業専用道）改良工事	新谷建設株式会社
林道	網走中部森林管理署	湯の沢支線林道（林業専用道）新設工事	鐘ヶ江建設株式会社
林道	渡島森林管理署	精進川線作業道（林業専用道（規格相当））新設工事	株式会社石井組

【北海道森林管理局長賞】

部門	署名	工事名	会社名
治山	空知森林管理署	西桂沢治山工事	及川産業株式会社
治山	上川北部森林管理署	朝日（2014林班）治山工事	株式会社野田組
治山	網走西部森林管理署	10号の沢治山工事	大同産業開発株式会社
治山	網走西部森林管理署	野上の沢治山工事	津別建設株式会社
治山	十勝西部森林管理署	ベケレベツ川支流治山工事	栗林建設株式会社
治山	渡島森林管理署	烏崎中流部治山工事	工藤建設株式会社
林道	日高北部森林管理署	仁世宇林道改良工事	登建設工業株式会社
林道	上川南部森林管理署	5線の沢林道（林業専用道）新設工事	株式会社吉岡建設
林道	西紋別支署	オセウシ林道改良工事	株式会社菊地組
林道	十勝東部森林管理署	318林班林道（林業専用道）新設工事	株式会社河向組
林道	後志森林管理署	稀府林道（林業専用道）新設工事	田島緑地前川コラボラクション株式会社

【北海道森林管理局長賞 主任（監理）技術者表彰】

部門	署名	工事名	受賞者
治山	胆振東部森林管理署	樽前山（覚生川）地域防災対策総合治山事業	岩倉建設株式会社 桜井 俊春
治山	十勝東部森林管理署	本別町朝日町治山工事	萩原建設工業株式会社 下 邦彦
林道	東大雪支署	湯擬谷第1分線林道（林業専用道）新設工事	西江建設株式会社 長田 仁
林道	渡島森林管理署	精進川線作業道（林業専用道（規格相当））新設工事	株式会社石井組 石井 高志

【北海道森林管理局長賞 現場代理人表彰】

部門	署名	工事名	受賞者
治山	十勝東部森林管理署	本別町朝日町治山工事	萩原建設工業株式会社 高橋 信諒

【北海道森林管理局長賞 監督職員表彰】

部門	署名	工事名	受賞者
治山	胆振東部森林管理署	樽前山（覚生川）地域防災対策総合治山事業	農林水産技官 浅野 誠一郎
治山	上川中部森林管理署	十勝岳治山工事その1	農林水産技官 太田 雅也
治山	十勝東部森林管理署	本別町朝日町治山工事	農林水産技官 小林 輝郁
治山	後志森林管理署	紋別川治山工事	農林水産技官 村田 修也
林道	空知森林管理署	扇風機の沢作業道（林業専用道（規格相当））新設工事	農林水産技官 櫻庭 佳男
林道	上川中部森林管理署	松山1号林道（林業専用道）新設工事及び 岩山林道（林業専用道）改良工事	農林水産技官 藤本 拓
林道	網走中部森林管理署	湯の沢支線林道（林業専用道）新設工事	農林水産技官 大川 直文
林道	東大雪支署	湯擬谷第1分線林道（林業専用道）新設工事	農林水産技官 武隈 智
林道	渡島森林管理署	精進川線作業道（林業専用道（規格相当））新設工事	農林水産技官 三浦 忍

大臣賞と長官賞の内容等は  
林野庁ホームページをご覧ください。



<https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/sidou/happyo/230207.html>

受賞となった  
各工事は、現地  
に合った施工管  
理等の工夫、仕  
上りの良さを  
ど品質確保、自  
然環境への配慮  
などに努めたこ  
とが高評価に繋  
がりました。



石狩地域森林ふれあい推進センター

新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年・3年は各種行事の実施が見送られてきた中、令和4年度は予定していた行事をほぼ実施することができました。

【森林教室】

○第1回森林教室

(定山溪小学校・中学校)

定山溪の三笠地区にある国有林で「身近な自然を観察しよう・保護しよう」と題し、小学生・中学生合同でこの地区に自生している植生(カタクリ・エゾエンゴサクなど)の調査を行い、自分たちの住んでいる地域の植生に関心を持ってもらう取り組みを行いました。

○第2回森林教室

(定山溪小学校)

当日は生憎の雨となったため屋外活動をあきらめ、屋内で「子ども樹木博士認定会」を実施しました。

職員が午前中に定山溪の国有林で採取した葉っぱ等を用いて、午後の森林教室で樹木の葉の形や特徴などの説明を行いました。

その後、子どもたちは、認定試験に臨み、職員からの説明を思い出しながら解答し、それぞれ正解数に応じた級の認定を受けました。



子ども樹木博士認定会の様子

○第3回森林教室

(定山溪中学校)

「生徒が描く森林づくり」と題して夢の森づくりの取組を実施しました。

好天に恵まれ、広場・植栽箇所、草刈り、ウッドチップ散布や老朽化した鹿食害防止柵の撤去、昨年設置した葉箱の整備などを行いました。

○第4回森林教室

(定山溪中学校)

今年度2回目の「夢の森」での活動は、前回に引き続き降雪で傷んだ鹿食害防止柵の撤去と自生したニセアカシア(外来種)の除去、昨年度植栽した箇所の生育調査を行いました。

また、生徒の発案で森の中に自分たちで作成したベンチを設置し、森でひと息つける場所を設けました。



設置したベンチ

【野幌森林再生プロジェクト】

平成16年の台風18号の被害跡地にボランティア団体が植栽・保育等の作業を行っています。今年度は、ほぼ保育作業のめどがついていたので、生育調査などが実施されました。

また、野幌森づくり塾の活動は、3回(風倒被害地への植栽、外来種駆除、保育作業等)実施しました。

ほかにも団体型森林づくりに参加する団体等の相互の取組状況の共有の場として「野幌森林再生活動連絡会」を設置しており、3年ぶりに対面で会議を開催し情報交換などを行いました。

【札幌水源の森づくり】

今年で17回目を迎えるこの取組は、◇街の中で一人一本苗木づくり、次代へ引き継ごう「水源の森」◇として市



苗木ができたので「ボールミニコン」で作った市民の皆さんがポット

民に水と森林のかかわりを普及啓発するため、市民による苗木づくり、協力団体による定山溪の国有林で植栽、下刈りを行っています。今年度は3年ぶりに開催することができました。創成川公園において市民約200名に苗木を作成していただき、国有林へ植栽することができました。

また、過去に植栽した箇所の下刈りは、協力団体の人数も減る中センター職員総出で下刈りのお手伝いを行いました。

センターでは、野幌の森林再生、定山溪の水源の重要性の普及などについて市民の皆さんに楽しんでもらいながら、取り組んでいきたいと考えております。

# 【後志森林管理署】 木造建築・我が署紹介！



現庁舎

「歌才ブナ林」などの貴重な自然環境を有し、支笏洞爺国立公園、ニセコ積丹小樽海岸国定公園、狩場茂津多道立自然公園などの第一級の森林・自然景観を眺望することが出来ます。また、海外から注目されるニセコアンヌプリ周辺のスキー場をはじめ多くのレクリエーションエリアがあり、豊富な温泉資源と相まって、自然とのふれあいの場として多くの人が訪れる観光資源としての役割も期待されています。

## 【管理署の変遷】

後志森林管理署の前身となる旧倶知安営林署庁舎は、昭和29年に建築され、

後志森林管理署は、北海道の南西部に位置している後志胆振地域に広がる約13万haの国有林を管理経営しています。

自生するブナ林の北限として天然記念物や希少個体群保護林に指定されている

国有林管理拠点として半世紀近くにわたる歴史を歩きました。旧倶知安営林署は、平成11年3月、組織の再編に伴い、「後志森林管理署」へと改称され、室蘭営林署、黒松内営林署の管内を管轄下に、後志・胆振流域管理の拠点として位置づけられました。

これを契機として、現在の庁舎が新築されることとなり、庁舎は、平成15年11月に竣工し、今年で20年を迎えます。

## 【現庁舎の概要】

庁舎は、木造平屋建て、延べ床面積470㎡の規模で、道南地方から産出されるウダイカンバやセンノキ、スギ、ヒバ、エゾマツ、トドマツ、カラマツなどの木材が使用され、木の香りが漂う建物になっています。

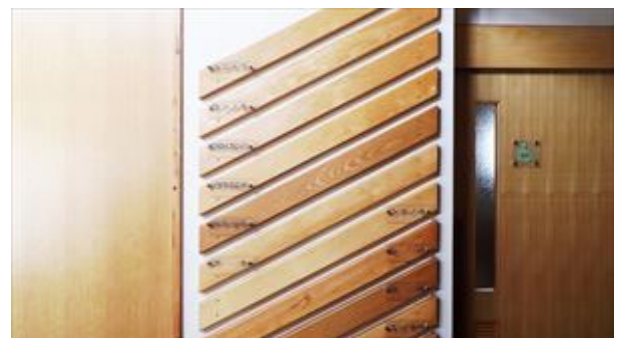
無落雪屋根を採用し、構造材にはカラマツ、トドマツ、エゾマツの大断面集成材を使用し、力強さ、優し



会議室

さ、温もりなど「木の良さ」を十分に活かした建築構造としています。また、フロアリングには、イタヤカエデ、ミズナラが使われています。

バリアフリーにすることで、来訪者や地域の方々が「開かれた国有林」を実感できる開放型施設とし、地域から親しまれる建物となっています。また、署長室、執務室からはニセコアンヌプリをはじめするニセコ山系、羊蹄山などが眺望でき、



北海道を代表する広葉樹の板

雄大な自然が身近に感じられる環境のなかで業務を行っています。

これからも公益重視の管理経営を一層推進するとともに、民有林と国有林が連携して地域の森林・林業・木材産業の活性化に貢献するとともに、後志・胆振地域の国有林の管理経営の拠点として、名実ともに「国民の国有林」として地域に必要とされる存在となるよう業務に取り組みしていきます。



# こんにちは 森林官(補)です!

## おけと 【置戸町】

人口：約2700人  
気温：冬-25℃～夏35℃  
森林率：84%(うち国有林は約70%)  
**内陸性の過酷な環境ながら、豊かな森林資源を持つ「緑と清流の町」。**

## つねもと 【常元森林事務所】

所管：置戸町常元地区の国有林  
担当国有林面積：約7,600ha

網走中部森林管理署  
常元森林事務所  
石橋 颯己

(地域の音楽サークルで  
2022置戸町町民文化祭に出演)

## 置戸町と木の文化

常元森林事務所のある置戸町は、古くは林業の町として栄え、現在でも、林業の町の文化が地域に根付いています。

例えば「オケクラフト」は、地域ブランドとして置戸町の代名詞となっています。これは柔らかなデザインや木肌の温かさが人気ですが、実は、地域の製材工場から出るエゾマツ等の端材を有効活用しようとしたことが始まりでした。

また、丸太を運び出す際にバチと呼ばれる馬そりを使っていたので、町の夏まつりでは、「人間ばん馬」がメインイベントとして行われ、町公認のゆるキャラは、馬がモチーフの「おけばんばくん」です。



飛び入り参加  
しました!

人間ばん馬で丸太と町長を運ぶ  
～R4年度デモレース～



オケクラフト  
withおけばんばくん

私は森林官補として、現場2年目ながら一定の責任を持つて常元地区を担当しています。業務は様々ですが、主なものに「地況林況等調査」があります。これは林内の区域ごとに木の生育や土地の様子などを把握し、今後の事業方針を検討するための調査です。数十年後の森の姿をデザインすることは、難しくもやりがいのある仕事です。

また、当署では、システム販売の協定を締結し、大径のエゾマツ丸太等を、オケクラフトの材料として販売しているの、森林整備事業の監督中に該当する木があれば、別途仕分けるよう事業者にお願ひします。

また、管内には、「鹿の子沢風景林」というレクリエーションの森があり、これまでに2回、町民の方々を案内してハイキングを行いました。地元に住んでいても来たことがない方も多く、イベントを通して地域の自然をより身近に感じてもらえたと思っています。

また、プライベートでは地域で音楽サークルを結成して活動しており、職域を越えた友人や知人も多くできました。そうした仲間ともよく自然のある所に出かけ、木や森についての知識や魅力を発信しています。

## 森を守り、伝える日々

木の太さを何本も測り、  
森全体の成長を推定



鹿の子沢ハイキング

# 独立行政法人農林漁業信用基金からのお知らせ

## \* \* \* 林業信用保証のご案内 \* \* \*

### 公的機関が林業・木材産業に 必要な資金の保証を行います

#### ■一般資金への保証

林業・木材産業に必要な運転資金及び設備資金を幅広く対象にする保証です。  
(原則 80%保証。一被保証者当たりの保証限度額は財務状況に応じて6億円以下です。)

#### ■林業・木材産業災害復旧対策保証

林野庁長官が指定した災害（新型コロナウイルス感染症、原油価格・物価高騰等による影響を含む。）の復旧、資金繰り安定化のための資金に対する保証です。(最大5年間保証料免除。罹災証明書等が必要です。)

#### ■制度資金への保証

都道府県知事の認定を受けた林業・木材産業の経営改善のための新たな計画や事業を合理化する計画に基づき事業を行うための資金に対する保証です。

林業・木材産業改善資金、木材産業等高度化推進資金への保証も行っています。  
(都道府県による貸付限度額の定めがあります。)

#### ●林業・木材産業改善資金

林業・木材産業の経営の改善を目的として、新たな取組を行うために必要な  
設備資金を無利子で融資する制度です。

#### ●木材産業等高度化推進資金

木材の生産及び流通を円滑にすることや効率的・安定的な林業経営を図るために必要な  
運転資金を低利で融資する制度です。

※保証のご利用には審査があります。審査の結果、ご希望に添えない場合があります。

#### 【相談窓口】

独立行政法人農林漁業信用基金

電話：03-3434-7825（林業業務推進課：都道府県又は一般の方）

03-3434-7826、7827（業務課：融資機関の方）

制度の概要、活用事例などはこちら

<https://www.jaffic.go.jp/guide/rin/index.html>



お気軽にご相談ください。

もり  
広報 「北の森林 国有林」 3月号  
発行 林野庁北海道森林管理局  
編集 総務企画部 企画課  
〒064-8537 札幌市中央区宮の森  
3条7丁目70  
I P 電話 050-3160-6300  
電 話 011-622-5213

<https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/>

今月の木 「カラマツ」  
今月はカラマツのイラストを表紙の月数字のつしろに掲載しました。  
かわいい花と新葉が展開します。  
雄花は下を向きませす。  
詳しくは、ホームページの「北海道の木のえほん」をご覧ください。



今月の表紙